

洪水浸水想定区域図について

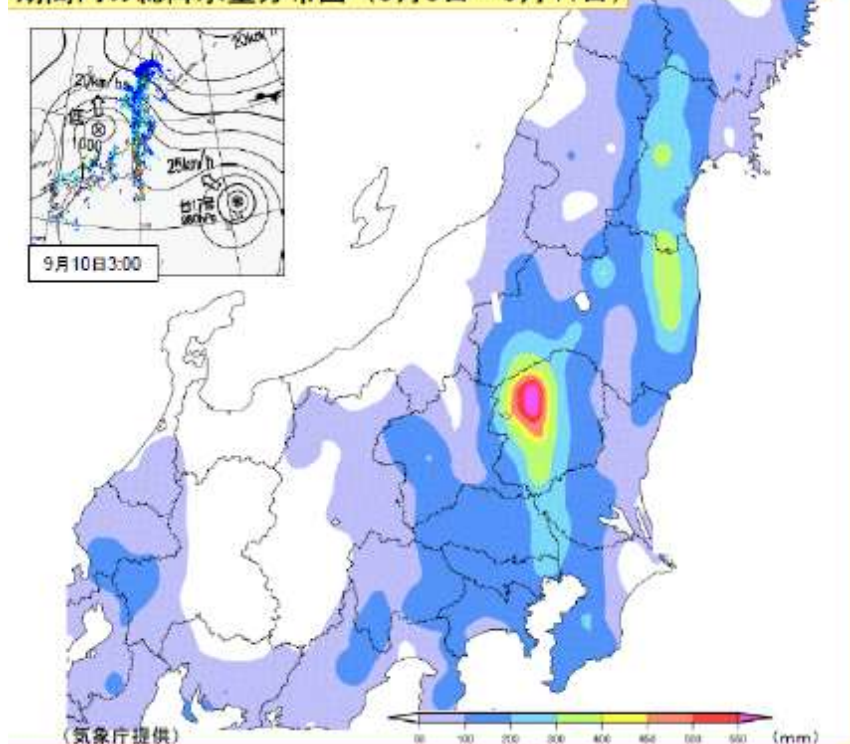
福井県 土木部 砂防防災課

1. 近年の水害(平成27年9月 関東東北豪雨)

近年では、想定を超える降雨により、広い範囲で被災し激甚化する傾向にあります。

●平成27年9月関東・東北豪雨災害では、鬼怒川において、堤防決壊等により浸水戸数は約1万棟、孤立救助者数は約4千人となる等、甚大な被害が発生しました。

期間内の総降水量分布図(9月9日～9月11日)



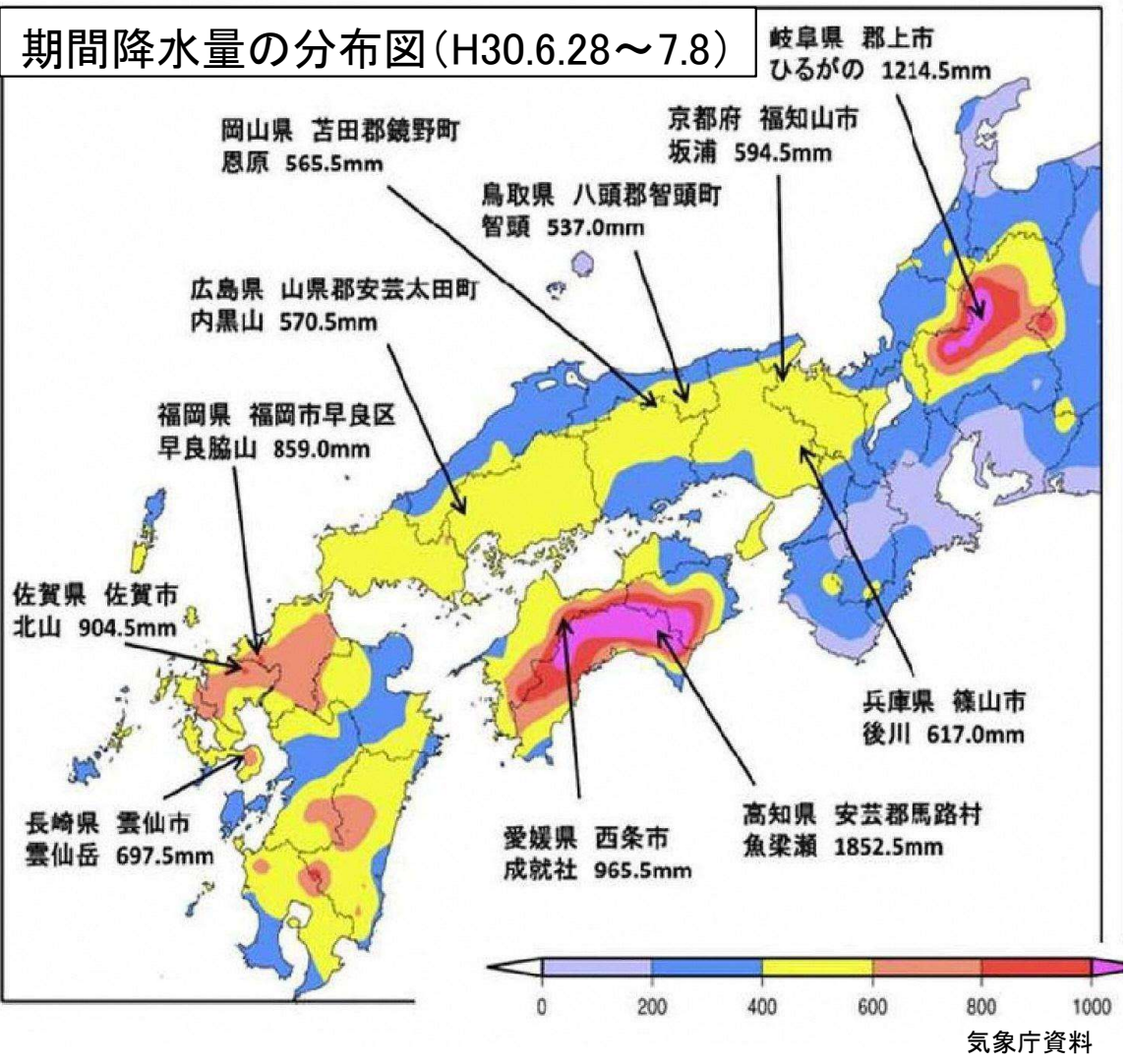
平成27年9月 関東・東北豪雨



1. 近年の水害 (平成30年7月 西日本豪雨)

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)では、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な豪雨となり、四国地方において総雨量が1800mmを超えました。

- 岡山県倉敷市小田川、愛媛県大洲市肱川において堤防決壊等により大規模な浸水被害が発生



2. 要配慮者利用施設に避難確保計画作成の義務化

- 平成21年7月中国・九州北部豪雨において、土砂災害警戒区域の高齢者福祉施設が土砂災害、平成28年台風10号において、浸水想定区域の高齢者福祉施設が洪水で被災。このため、平成29年6月水防法・土砂災害防止法の一部改正により、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域内に立地し、市町地域防災計画に定められている施設について、避難確保計画の作成が義務付けられました。



平成21年7月 中国・九州北部豪雨(山口県防府市)
高齢者福祉施設が土砂災害で被災

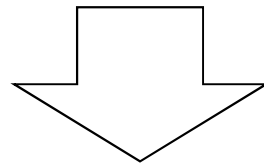


平成28年8月 台風10号(岩手県岩泉町)
高齢者福祉施設が洪水より被災

3.「水防災意識社会」の再構築に向けて」

これらの洪水被害を受け、国では

「施設の能力には限界があり、**施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生**するもの」へと**意識を変革**し、社会全体で洪水に備える必要があるとしています。



河川整備の目標としている降雨(計画規模)だけではなく、想定する最大規模の降雨(想定最大規模)が起こりうることを想定し、避難計画を作成する必要があります。

4. 計画規模と想定最大規模について

(1) 計画規模、想定最大規模の違い

項目	計画規模の降雨	想定最大規模の降雨
想定概要	河川整備の目標としている降雨	想定しうる最大規模の降雨
降雨確率	笙の川 1 0 0 年に一度の雨	1 0 0 0 年を超える期間に一度の雨
降雨量	笙の川 2 2 0 m m / 1 日	笙の川 5 4 7 m m / 1 日

参考：福井県最高 2 8 3 m m / 日 (平成 1 6 年 7 月 1 8 日 美山)

5. 洪水浸水想定区域図について(敦賀市)

位置図

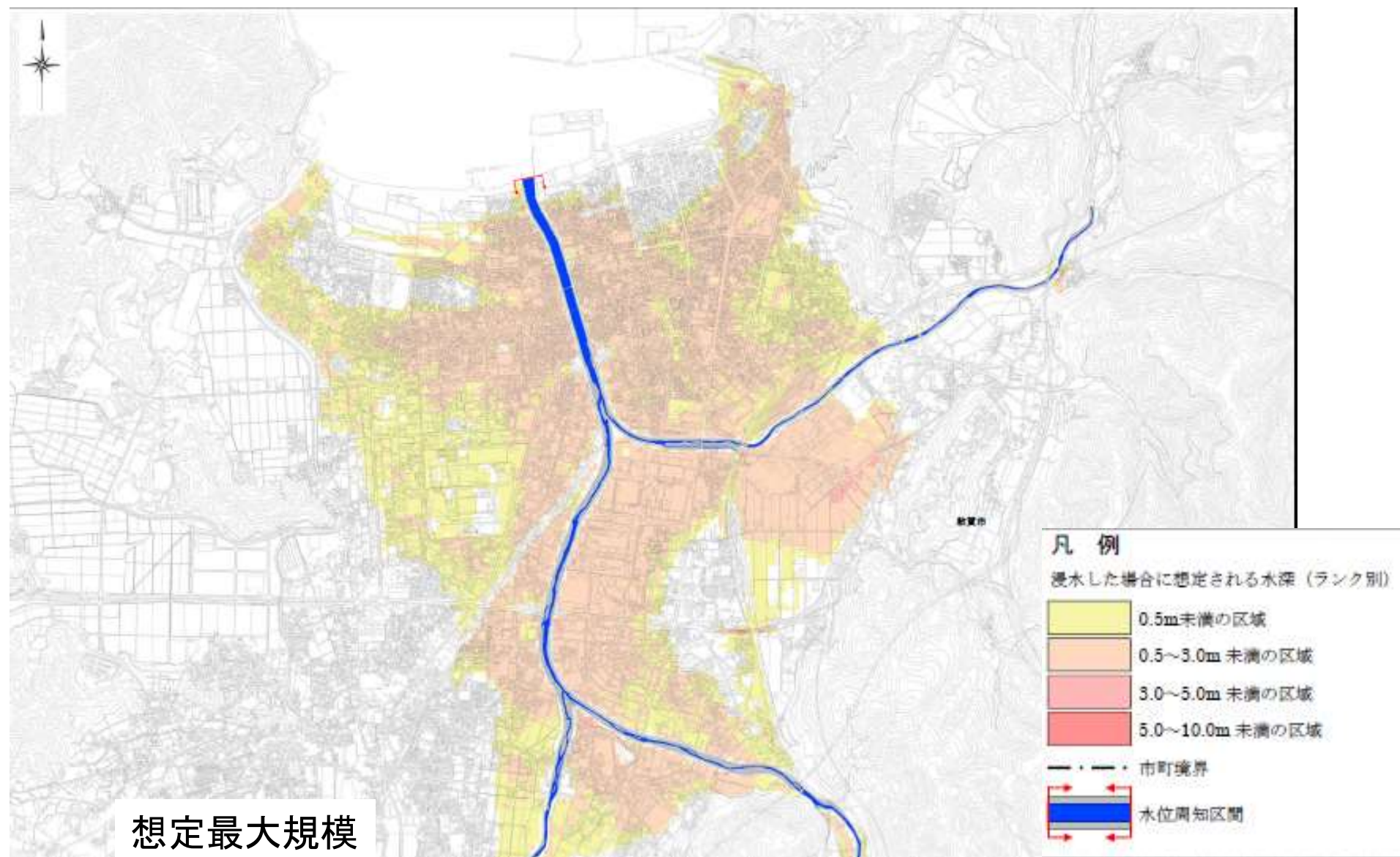


河川名	管轄	公表年月
一級河川 笙の川	県管理	令和元年6月

5. 洪水浸水想定区域図について(敦賀市)

浸水区域、浸水深が分かることにより、避難場所、避難路の検討に利用できます。

笙の川



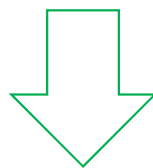
5. 洪水浸水想定区域図について(敦賀市)

・検索方法

インターネットから『福井県 浸水想定区域』で検索

福井県 浸水想定区域

検索



洪水浸水想定区域を指定しました

最終更新日 2019年6月4日 | ページID 008953

印刷

洪水浸水想定区域の指定について

水防法第14条第1項の規定に基づき、洪水予報河川および水位周知河川について、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水災による被害の軽減を図るため、想定最大規模降雨（想定し得る最大規模の降雨）により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域として指定しました。指定する洪水予報河川および水位周知河川は、次の20河川です。

九頭竜川 / 竹田川 / 日野川 / 足羽川 / 筈の川 / 南川 / 兵庫川 / 荒川 / 赤根川 / 清滝川

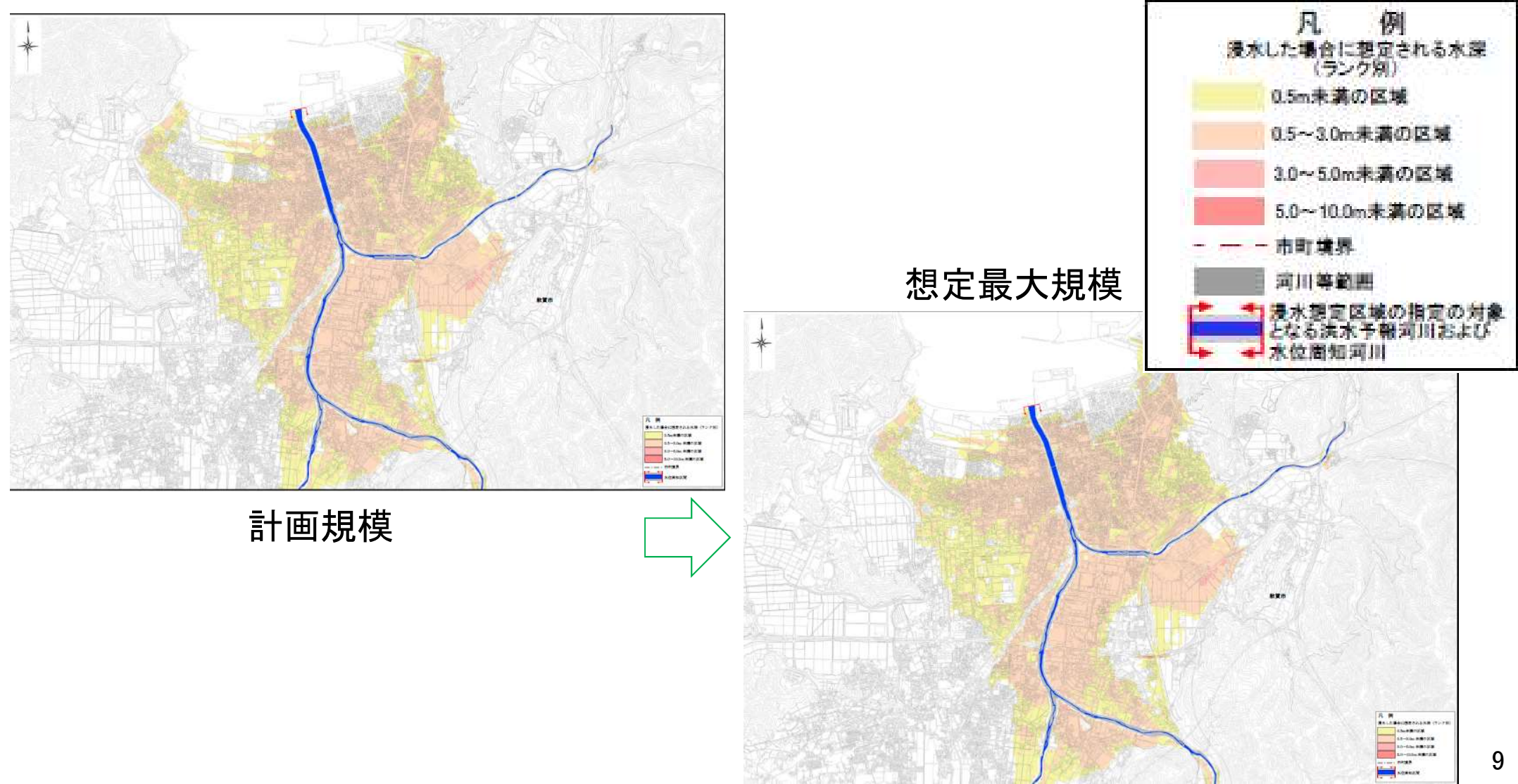
江端川 / 天王川 / 浅水川 / 鞍谷川 / 吉野瀬川 / 耳川 / 鯖川 / 遠敷川 / 佐分利川 / 関屋川

6. 計画規模と想定最大規模について

(2) 計画規模、想定最大規模による洪水浸水想定区域(敦賀市)

想定最大規模では、計画規模よりも浸水区域が広がったり、浸水深が深くなったりします。

計画規模では安全であっても、想定最大規模では危険である可能性があります。



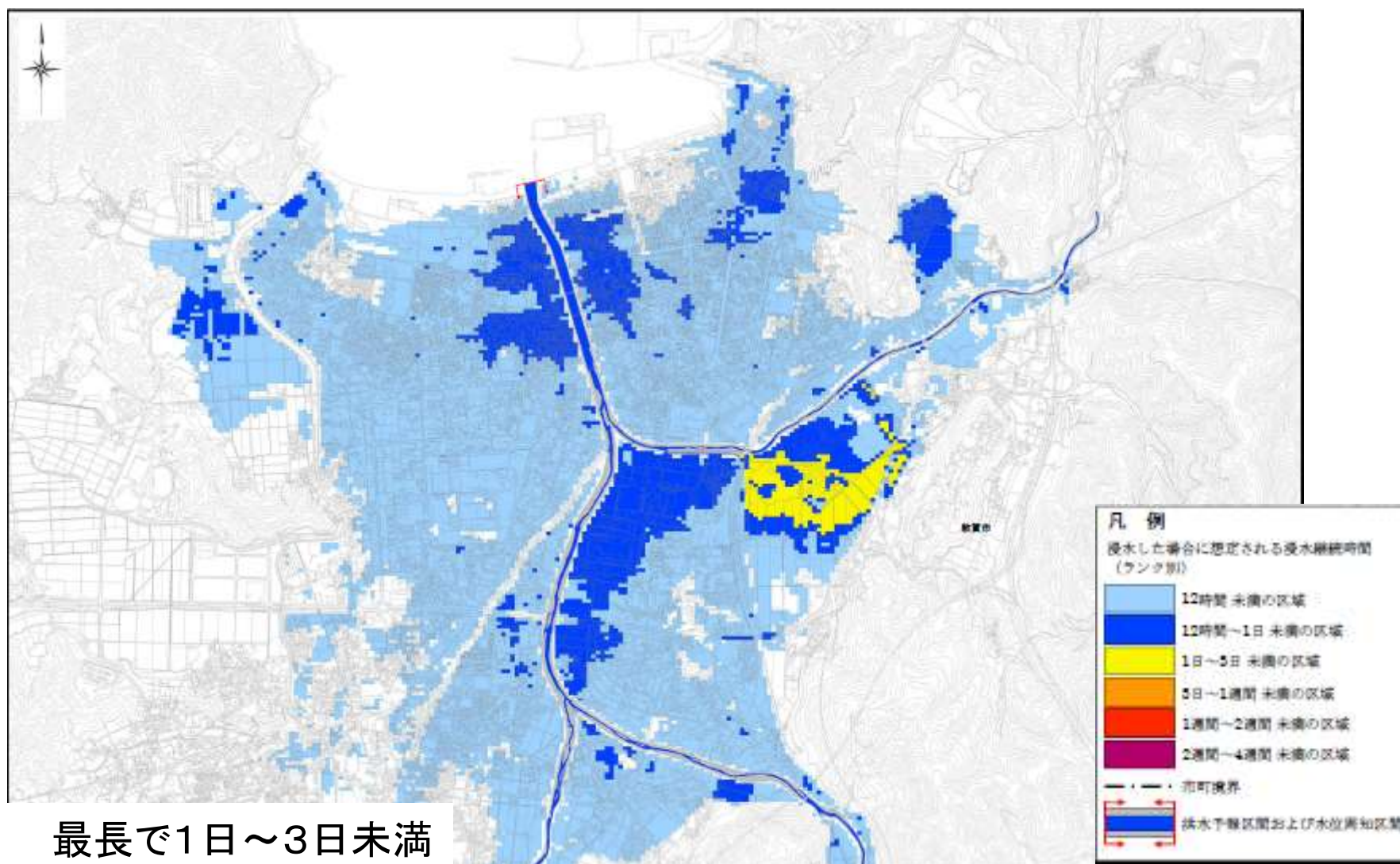
7. 避難確保計画での想定最大規模の活用方法について

- ・避難確保計画は計画規模の浸水想定区域を基本とし、避難場所、避難路を検討してください。
- ・避難場所に滞在している間も雨が降り続いた場合、計画規模から想定最大規模に移行すること考えられることから、想定最大規模の洪水浸水想定区域図から、避難場所の状況を確認し、命を守るための避難行動を検討してください。

8. その他参考資料

(1) 浸水継続時間

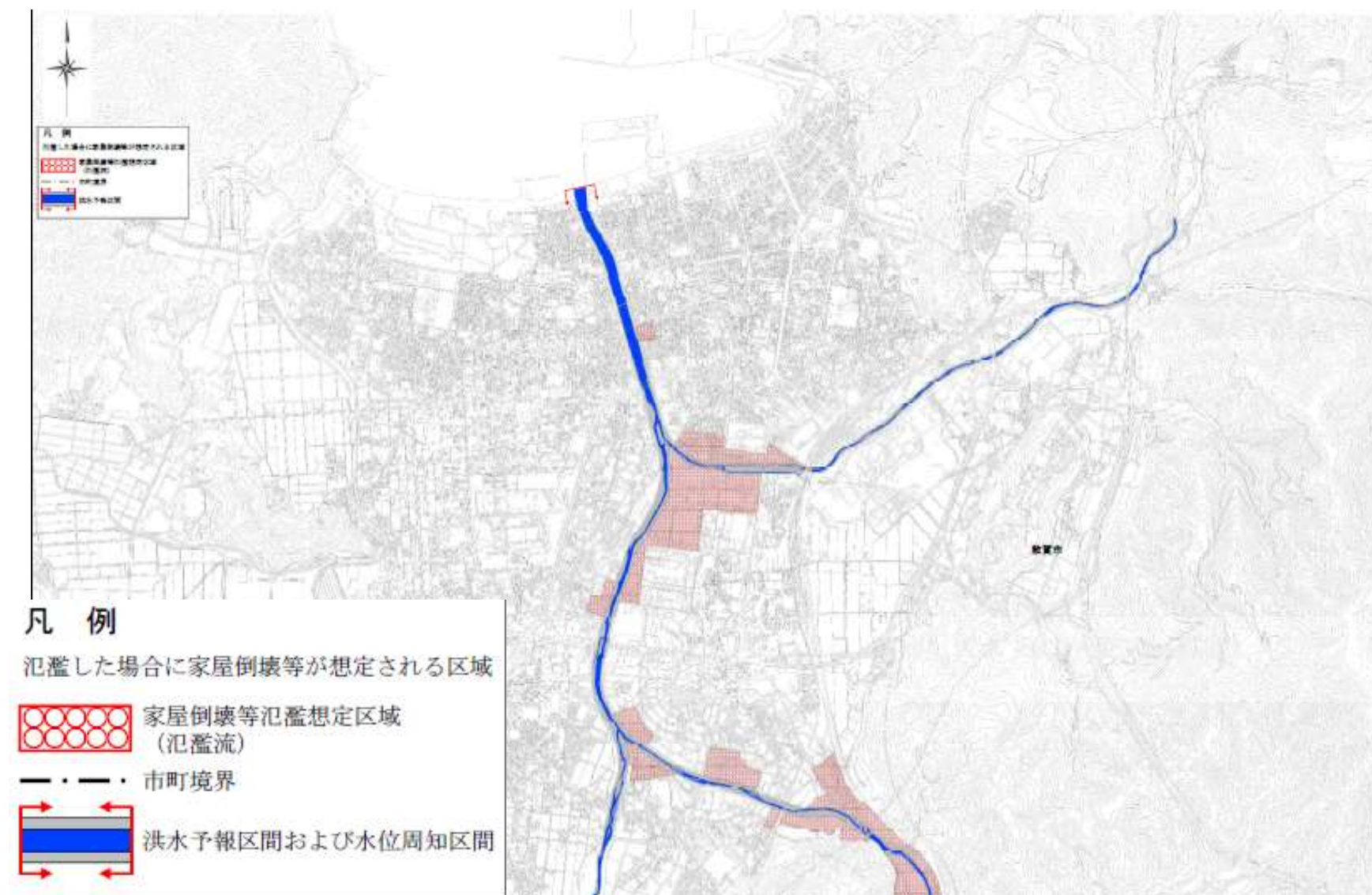
- 浸水深が50cmに達してから、その水深を下回るまでにかかる時間を示しており、洪水による浸水状態が続くことで「避難場所に留まる時間」が分かることから、避難生活において必要な物資・資機材の検討に利用できます。



8. その他参考資料

(2) 家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河川の氾濫時に家屋が倒壊、流失する等の危険性が高い範囲を示したもので、早期避難の必要性の判断に利用できます。



2. その他参考資料

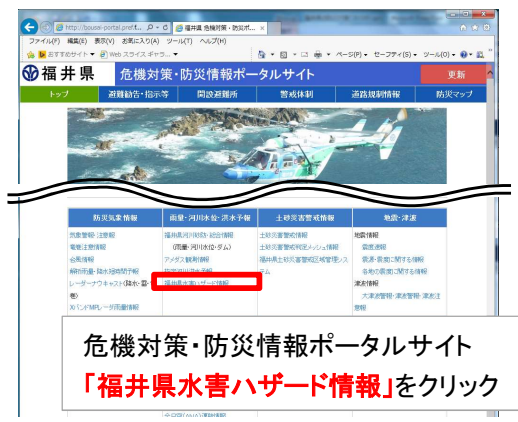
(3)過去の浸水実績 避難場所、避難路の検討に利用できます。

過去の災害で浸水のあった範囲は、県HPにある「水害ハザード情報」で確認することができます。

福井県のホームページ <http://www.pref.fukui.lg.jp/>



福井県HPトップページの「災害・防災情報」をクリック



危機対策・防災情報ポータルサイト「福井県水害ハザード情報」をクリック

最新の洪水浸水想定区域図を確認する方は
こちら [福井県HP](#) →

浸水実績のみを確認する方は
こちら [浸水実績\(水害ハザード情報\)](#) →

※ただし、画面上に表示される洪水浸水想定区域図は最新の洪水浸水想定区域図とは異なります

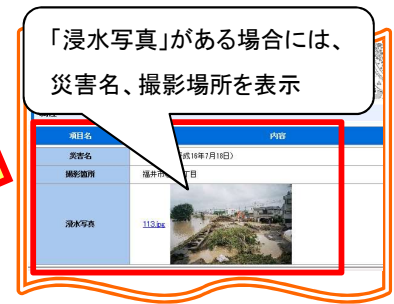
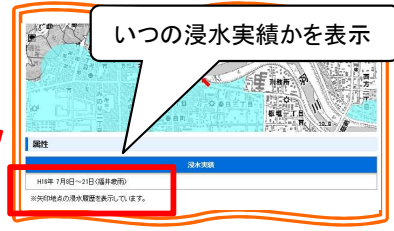
更新日 令和元年 8月30日

【 浸水実績図 】



浸水のあった範囲を水色で着色

(注:「浸水実績データ」は、「水害統計書」の水害区域図などを基礎資料として編纂していますが、実際の浸水実績と異なることがあります。)

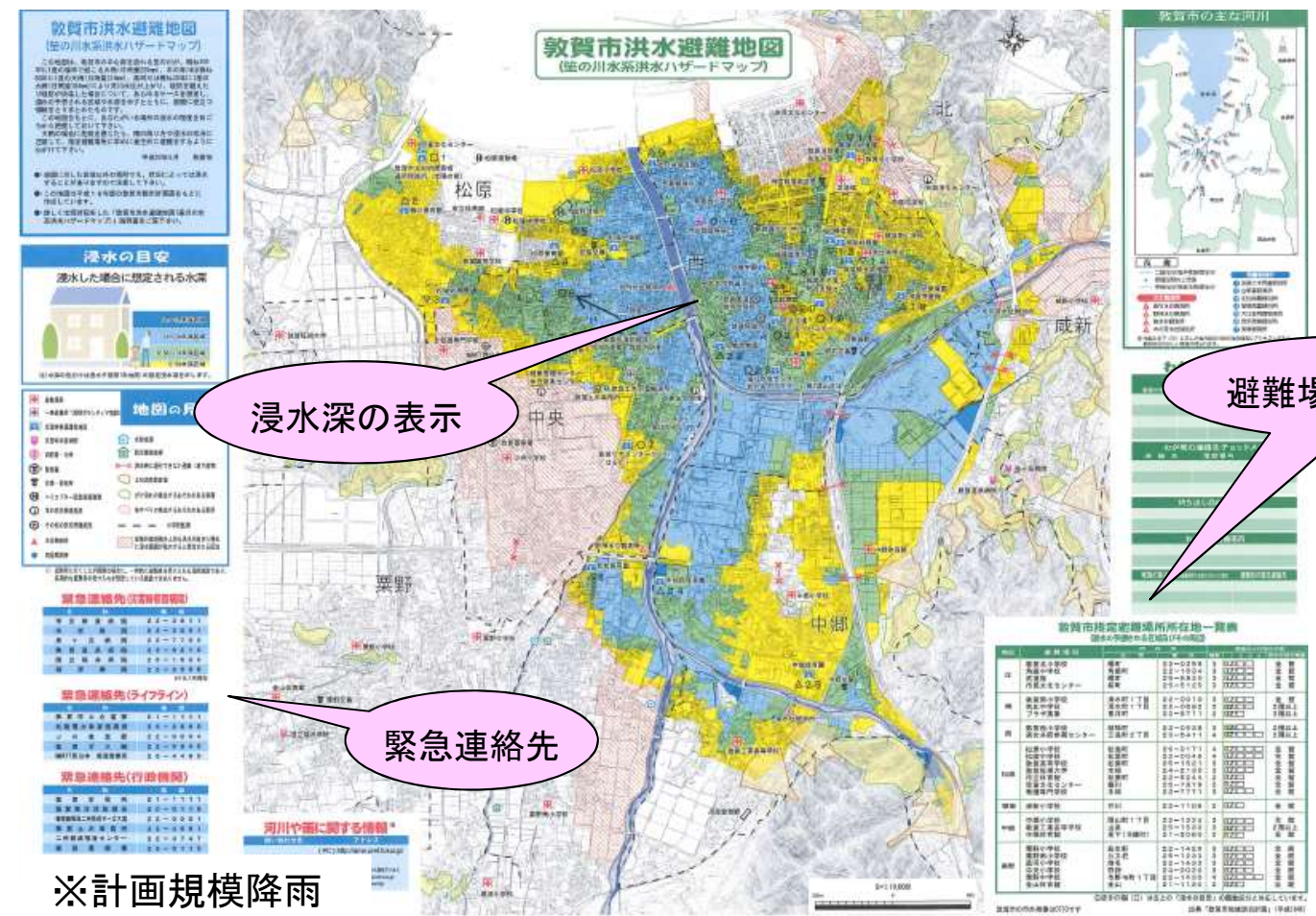


2. その他参考資料

(4) 洪水ハザードマップ

➤ 洪水ハザードマップは、国と県が管理河川ごとに作成した洪水浸水想定区域図をもとに、市町地域防災計画において定められた必要事項等を記載したものです。避難場所、避難路の検討に利用できます。

ハザードマップの例
敦賀市



・ 市役所、町役場のホームページから『洪水ハザードマップ』で検索

洪水ハザードマップ

検索